

清水高原(きよみずこうげん)歳時記(長野県道完走編)

≪長野県山形村≫(やまがたむら)

第5集

(長野県道 1 号線~508 号線)

NO.29 長野県道 2 号は川上佐久線

(長野県道 2 号走破) (長野県道 3 号欠番) (長野県道 120 号走破)

NO.30 信南相木ダムを見に足を延ばしました

(長野県道 472 号走破)

NO.31 中部縦貫道の全線開通を期待(福井で越前ガニ)

(長野県道 5 号/岐阜県道 5 号走破) (長野県道 24 号走破)

NO.32 北アルプスが雪化粧・塩嶺王城パークライン・東山山麓線

(長野県道 63 号走破)

NO.33 松代町の県道 35 号線(長野真田線)のバイパスを走る

(長野県道 34 号走破) (長野県道 35 号走破)

NO.34 北信濃くだもの街道と葛飾北斎の天井絵

(長野県道 358 号走破)

NO.35 歩かなくなった自分(子供の頃歩いた道)

長野県道2号は川上佐久線

澤田 繁 著

(長野県道2号走破)(長野県道3号欠番)(長野県道120号走破)

長野県佐久市は、新幹線が通ってからさらに変化している。昭和36年(1961年)に浅間町・東村・野沢町・中込町が合併、さらに平成17年(2005年)に望月町・浅科町・白田町が合併し大きな市になった。県道2号線(川上佐久線)は佐久市の南地域の中込を終点として千曲川沿いを南下し小海駅から千曲川を離れ南相木村方面(南東)に馬越峠を越えて起点の川上村までの路線です。

2020.9.8 山梨県から信州峠を越えて川上村に入り、川上村役場を目指しました。この日は県道2号線を起

点から馬越峠を越えて小海町(2号線のつづきは後日)までいき又山梨県に戻るコースでした。県道68号線に入り、役場手前200m深山の三差路(2号線の起点)(標高1180m)を左折し曲がりが多い登りの1車線の道を馬越峠(標高1620m)まで登るとあとは下り、南相木温泉・滝見の湯のところに出了ました。ここからは2車線になり、南相木川沿いに2号線は下っていきませんが、上流の方の南相木ダムが気になって、5kmほど行ってみましたので引き返しました。南相木村役場前を通り、県道124号との交点(北相木村)に出てしばらくは2号線と重複区間になっています。北相木村は



数百mだけで、すぐに小海町に入りました。小海トンネル手前を右折して小海駅に向かいますが、その日は小海トンネルを抜け小海大橋を渡り、小海大橋交差点で国道141号線に出て山梨県に戻り帰宅しました。

2020.12.1 長坂インターから国道141号に出て、小海大橋交差点を右折し小海トンネルを抜けてすぐ左折し県道2号線に入りました。小海線の上を通り小海駅前に出了ました。ここから千曲川沿いにまずは右岸、馬流駅までは小海線と千曲川の間がかなり狭く工事中的ことが多い、地形的にせまいところを抜けると、昔の街道のままで狭い道になる。ここに秩父事件本陣跡があった。『秩父事件(ちちぶじけん)』は、1884年(明治17年)10月31日から11月9日にかけて、埼玉県秩父郡の農民と士族が、政府に対して負債の延納・雑税の減少などを求めて起こした武装蜂起事件。隣接する群馬県・長野県の町村にも波及し、数千人規

模の一大騒動となった。自由民権運動の影響下に発生した、いわゆる「激化事件」の代表例ともされてきた。』佐久における秩父事件は詳しくかかれています。

小海町と佐久穂町の境界を越えたところに天狗岩がありすぐ横を通ると2車線の道になる。2車線道路はすぐに1車線の道路に黒岩駅周辺の集落を越えると又2車線になる。八千穂駅周辺の集落が来ると狭くなり駅を過ぎたところにある黒沢酒造（井筒長・黒澤）によってとっくり酒を買いました。国道299号に出るまではだいぶ2車線になっていた、一部バイパスも完成していた。

国道299号との重複区間を走り畑ケ中の信号を右折し右周りに半周して佐久方向に向かう、2本のトンネルがあり恐らくバイパス路線であろう道を臼田駅に向かう。羽黒下駅近辺を過ぎ少し行くと佐久市臼田に入る、県道93号と交差する三差路に、93号線と重複部分を走る。小海線の踏切を渡り臼田駅前を通り、93号線との分岐する交差点を右折すると2号線に戻る。2号線はやぎ座通りと言われ整備されている、やぎ座通りは、いて座通り（上中込交差点）と交差するまでの名称で2号線はそのまま整備された状態で、中込橋場交差点・中込駅交差点を通過し、終点の国道256号と県道139号の交点でもある中込交差点に到達した。その日は国道256号を群馬県まで行き、こんにやくと下仁田ねぎを買って、県道43号を走り碓氷軽井沢インターにのって帰宅した。

2022.1.4 県道120号（三分中込線）和田峠から中込にいき、ピンコロ地蔵など見て佐久南インターから臼田インターに向かいました。県道120号を走るため県道93号を探し、臼田駅を通り三分交差点（起点）までいき、ここを左折し県道120号線に入りました。前半は郊外を走る路線でセンターラインがない2車線を走る。後半はセンターラインも設けられ中込市街に近くなると住宅街を走って終点の中込橋場交差点に到達した。県道139号線にて旧中込学校を見て佐久・小諸をはしり東部湯ノ丸インターから帰宅した。

佐久市臼田は、宇宙空間観測所が八ヶ岳の山麓にあり、町のシンボルとしてのロケットが町の近



くの小高い丘の稲荷山公園に設置してあり、あちこちからよく見える。

佐久市臼田は、日本で海岸線よりもっとも遠い地点に認定された場所の所在地である。

臼田の町から西に群馬県との県境に近くにある。新潟県・静岡県・神奈川県
の海岸線から約115km離れている地点で標高は1200mとなる。

歳時記ホームはこちら <http://www.go.tvm.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>



2023.10.24 須玉インターから国道 141 号を佐久方面に、海ノ口駅手前の踏切を渡ると、よく食事で利用するストローハットが左手に、そのすぐ後の信号を右折し橋を渡り、小沢志なの入トンネルを抜けると南相木村に到達した。



南相木村日向で、県道 2

号線との交点に、ここを右折し県道 2 号線を川上村方面にいき、南相木村役場を過ぎたら、今日目的の県道 472 号線に入る。栗生川沿いに上流に向かう、2 車線の道路がつづき御座山登山道方面と三川方面に分かれる道路標識のところ県道 472 号の終点となっているようだ。三川方面に向かうが 2 車線道路はつづく、栗生坂の頂点に、記念碑が 2 つあり車から降りて見た、一つは開道関係でもう一つはなんとやまびこ国体(昭和 53 年開催)の採火記念碑であったが詳細は分からなかった。坂を下り三差路に出たところで、南相木ダムまで 7km の標識があったのでダム方面に向かった。



ダムへ向かう道路は、ダムの下に向かう道路とダムの上に向かう道路があり、今回は上に向かう方に行った。途中御巢鷹山トンネル入口(写真)があったが一般の人が通れないようだ、



地図で見たら群馬県上野村まで行っており、神流川発電所との往來用トンネルのようだ。トンネルの先に神流川発電所さらに上野ダムがあり、南相木ダムを加え揚水式(発電所)になっている。



ダムに到着、このダム一見して岩石や土砂を積み上げて作られているロックフィルダム(写真:下の方に緑の広場が見える)だと分かる。2006 年に完成、堤高さ 136m とかなり高いほうだ。標高 1532m は日本で一番高いところにあるダムになっている。

小海町農産物直売所で、くらかけ豆とトマトジュースを買い、八千穂インター・佐久南インター・国道 256 号(三才山トンネル)を通り帰宅。

2023.11.14 今日は越前がにを食べにいくぞ!、朝6時20分発に成功しました。波田小学校前交差点から国道158号線に入りました。国道158号線(松本-福井)に沿って福井まで行くのだが、これがいつかは中部縦貫道になる。松本-波田間は工事中、波田-中の湯間はまだ路線も検討されていない、波田から直ぐに島々の谷に入る。1969年(昭和44年)に完成した3ダムの稲核ダム(1969年完成)・水殿ダム・奈川渡ダムまでは曲がりの多く、トンネルも狭い(現在2か所でトンネル工事をおこなっている)奈川渡ダムから沢渡まではトンネルがほとんどです。



上高地に行くには沢渡で駐車場に車を止めバス・タクシーで向かうしかない。上高地のマイカー規制は1975年から季節限定で始まり1996年には通年規制がされた。マイカー規制が始まる前に妻と二人で車で、昔の釜トンネル(急勾配で狭い)を通り、上高地の駐車場まで行き、西穂高に登った(西穂山荘まではいけなかった)。釜トンネル入口から上高地駐車場までが県道24号線の路線で完走扱いにしました。

安房トンネル(平湯IC~中の湯IC)部分の完成が1997年、それまでは安房峠を越え(冬期間は通行止め)で高山方面(2度ほど行った記憶がある)に行っていた。安房トンネル出入口は温泉が多く、トンネルを抜けると硫黄の匂いを嗅ぐことが出来た。平湯からは乗鞍スカイラインで乗鞍に行けるが、これもマイカー規制が2003年から始まっており、いつ行ったか思い出せないが当時は有料だった?、すごく景色がいい路線で畳平駐車場で車を止めてちょっと乗鞍を登って写真を撮った。この路線少し長野県に入っているため長野県道5号線/岐阜県道5号線となっているが実質岐阜県道5号線だ。この県道とつながるのが乗鞍高原から登ってくる長野県道84号線となる。

平湯インターから丹生川インターまでは路線協議に入っています、丹生川から高山インターまでは今盛んに工事をしている。

高山インターに乗ったのが8時、清見JCTで東海北陸道(名古屋-富山)に入り白鳥JCTまで中



部縦貫道が重複しています。この路線高速道路日本一の表示が目立ちます、標高日本一として松ノ木PA付近で1085m(その前は中央道1015m)、また鷲見橋(荘川IC-白鳥IC間)の橋脚が125mで日本一となっていま

す。中部縦貫道が全線開通すれば標高は安房トンネルの 1373m で日本一になるはずですが。

白鳥 JCT から中部縦貫道に入れず通過してしまいました。次のぎふ大和インターで降り再び乗って白鳥 JCT から中部縦貫道に入る (8 時 55 分 : 間違いロス 8 分) ことが出来ました。油坂を抜けて福井県に入り 1km いったところで高速道路がなくなり国道 158 号線に、油坂から九頭竜インターまではいたるところで工事が進んでいた、令和 8 年春開通予定。九頭竜インターから勝原インターまでが今年 (2023 年) の 10 月 28 日に開通したばかりで、真新しいトンネルなどを通った、勝原インターから大野インターも今年の春開通したばかりで新しい、大野インター手前の荒島インター横にある「道の駅越前おおの荒島の里」に寄り、大野



インター (10 時) から恐竜博物館に行き、1 時間半くらい見学してまた大野インター (12 時) に乗りました、後で調べたが大野インターより勝山インターのが近いみたい。中部縦貫道の最終インターの松岡インター (12 時 23 分) で降り、国道 416 号を 5km くらい走り国道 8 号線の新保交差点に到着した。家を出てから福井までは寄り道を除くと約 4 時間での道のりでした。ここからはすぐの「福井市中央即売市場 (ふくい鮮いちば)」でまずは、せいこ井を食



べました。せいこがにと越前がにを買って帰宅の途につきました。帰りも同じルートで帰りましたが、永平寺参道 IC で降り永平寺に、途

中羽二重餅を買い、永平寺を車から拝顔し、往復 10km の寄り道をした。永平寺 IC に乗り、沿線の九頭竜ダム手前で車から降りて写真撮影し、あとはどこも寄らず帰って来ました。6 時 20 分着で 12 時間(500km)の旅でした。

清水高原(きよみずこうげん)歳時記(長野県道完走編)

NO 道32

《長野県山形村》(やまがたむら) 2023.11.21

北アルプスが雪化粧・塩嶺王城パークライン・東山山麓線

澤田 繁 著

(長野県道 63 号走破)

2023.11.21 北アルプスが良く見えるところを家から遠くない所に出かけました。この時期は里には雪がなく、高い山に雪が積もった絶好の景色が見られる。

まずは、国道 153 号からみどり湖方面に勝弦地区に入る。ここから県道 254 号線を岡谷方面に、勝弦峠を右折し塩嶺王城パークラインに 1km 程行くと展望広場があり、諏訪湖と八ヶ岳が見える。さらにちょっと先の駐車



場に車を止めて展望台まで少し歩きながら北アルプス・御岳のきれいな山並みを見た。王城パークラインを下り小野宿で国道 153 号線を塩尻方面に塩尻宿本陣手前 300m を右折すると五千石街道に入る。高速道路下まで街道を通りそこから北熊井城跡の横を通り東山山麓線との交点に出る。そこからの山麓線は車で走りながら北アルプスが良く見える場所が多い路線です、塩尻市から松本市に入るとアルプス展望しののめのみちと名称が変わる？(どうも名前は一緒みたい) 境から 2.5km 程行くと県道 63 号線と交わり 63 号線となる、古屋敷のバス停まではアルプス展望しののめ(東雲)のみちと県道 63 号は重複する。この日はこの近くにある、中学校の同級生がやっている「アルプ」で食事をして帰宅した。

2020.12.15 信大病院に妻の定期健診につきあい、そこから本町方面に向かい県道 63 号の起点である深志 2 丁目の交差点を出発、あがたの森・源池小学校・富士電機・中山・古屋敷までは昔からのバス路線の中山線である。小学校の遠足では何度か歩いた道であり、遠足では中山の山・中山古墳・牛伏寺が印象深かった。古屋敷からはアルプス展望しののめのみち・東山山麓線が展望道路となり塩尻インターまで行っている。

2021.1.7 アルプス展望しののめ線と県道 63 号は分かれ県道 63 号線を塩尻方面に内田・片丘地区を主に走り、塩尻市大門五番町の日の出交差点が終点となる、古い曲がりが多い道路となっている。県道 63 号線走破。



塩尻市大門五番町の日の出交差点が終点となる、古い曲がりが多い道路となっている。県道 63 号線走破。

2021.1.26 姨捨スマートインターから千曲市の娘の家により国道 18 号線を北上、古戦場入口交差点より県道 35 号線に入る。小島田・氷鉤・青木島・丹波島・荒木と進み中御所の交差点(35 号線の始点)で国道 19 号線と合流、そのまま県庁方面に行くと県庁前交差点の手前、岡田町交差点を右に曲がり県道 34 号線(長野菅平線)に入り南千歳町交差点まで、七瀬には長野駅の東口に行く広い地下トンネルが空いたがすぐ左に曲がり昔のトンネルを通り行った。七瀬から大豆島そして落合橋を渡り保科温泉に、この先冬季および工事通行止めになっていたの、引き返してきました。帰りには北信五岳(飯綱・戸隠・黒姫・斑尾・妙高)が良く見えました。国道 403 号線に出て関崎橋東詰交差点から橋を渡り国道 18 号線に入り古戦場交差点に戻りました。



県道 34 号線の残りの区間は 2021.9.28

須坂長野東インターから保科温泉いき、山道を菅平まで登ることが出来ました。終点の国道 406 号交点から近くでインド料理のところで食事をして上田方面に降りました(県道 34 号線走破)



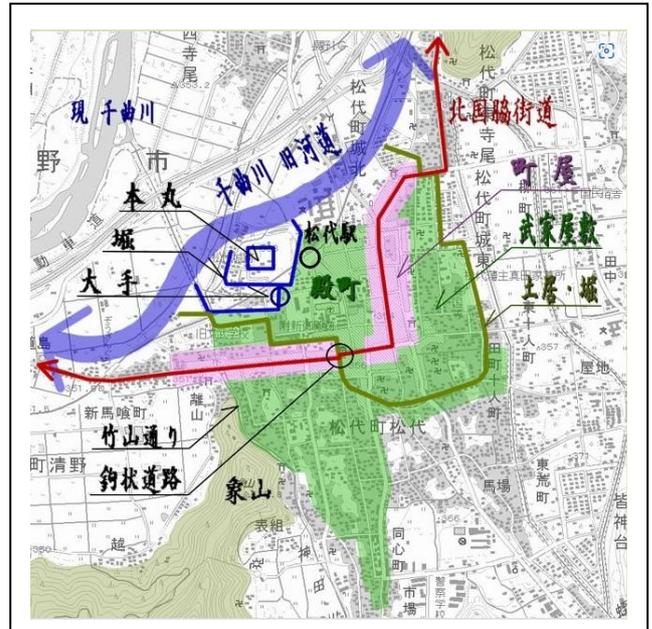
2021.1.26 古戦場入口交差点を松代方面に、古戦場公園を左手に見ながら岡地区を通過、松代大橋を渡り長野インターに入らずそのまま高速道路下を通過したところが長野インター南交差点、そのまま直進してもいいように道があいているが通行止めのため右に曲がり、国道 403 号線/県道 35 号線の重複部分を少し走り、上高相の交差点を左折して松代の町に向かった。荒神町の信号から街中になり、中町交差点を通り、南下すると町屋は 90 度右折して矢代宿方面に広がる。県道 35 号線は右折せず左折して次の角を右折する、そのまま南下して松代高校横を通り真田方面に向かった。

松代町は 1966 年長野市と合併して長野市松代町となる。松代城が築城されたのが 1560 年、武田信玄が山本勘助に命じて、対上杉に備えるために作られたのがはじまり、1622 年からは真田家が 10 代 250 年にわたって領内を治め存続し廃藩置県を迎えた城下町（図は転用）。領内は長野県北信一帯の 10 万石にわたる地域で松代藩である。幕末には佐久間象山（しょうざん/ぞうざん）を登用した。

松代の近くを通る時は、夏目のさかまんじゅうと鳶屋本店のおやきは買いに寄る。女房の実家が県道 35 号線の岡バス停のすぐそばにあった、小学校は今は廃校となった西寺尾小学校で 1 クラス 14 名、中学校は千曲川を越えて、お城がたんぼの向こうに見える松代中学校に、この学校マンモス学校で生徒数 2000 人だった。女房は子供の頃からパンとさかまんじゅうが好きで町に行くときは買ってもらって食べていた、さかまんじゅう屋さんは今も同じ味で営業を続けている。

私が松代を最初に訪れたのが大学 2 年（1969 年/昭和 44 年）の時でした。大学 1 年までは松本に学舎があったので実家から学校に通っていましたが、2 年から長野市の学舎になったため初めて実家を出ました。下宿先が学舎の近くでなく、かなり離れた岡バス停のそばになりました、時々学校とは反対方向の松代の町にいました。松代城（海津城）は今のように整備されてなく城の前を電車が走り、石垣の前の広場にはテニスコートがありテニスもしました。電車は屋代駅から木島駅の河東線で、大正 11 年から屋代一須坂間が開業した、昭和・平成を走った電車も 2002 年には中野一木島間が廃線になり、さらに 2012 年には屋代一須坂間が廃線となってしまいました。廃線が決まったすぐ後に女房と娘を松代から須坂まで乗せた記憶がある。今も松代駅跡には駅舎が残っており、なぜか駅舎前に「汽車ぽっぽ」の楽譜の碑がたっていた（作曲草川信が長野市出身：父が松代藩士）。

2023.11.23 夏目のさかまんじゅうを買ったついでに山上書店の場所を聞いて見ましたが、おぼろげな返事でしたので調べて見ました。大学 2 年頃は詩には興味があり、日本の詩集（全集）を買っていました、そのこともあり「お猿のかごや」を作った人の本屋さんが松代にあると聞いたので、当時どんな人かなと思い、本を買いに行ったらと見た（あの人かな）。1938



エッサ エッサ エッサホイ サツサ
 お猿のかごやだ ホイサツサ
 日暮(ひぐれ)れの山道 細い道
 小田原提灯(おだわらぢょうちん)ぶらさげて ソ
 ヤットコ ドッコイ ホイサツサ
 ホーイ ホイホイ ホイサツサ

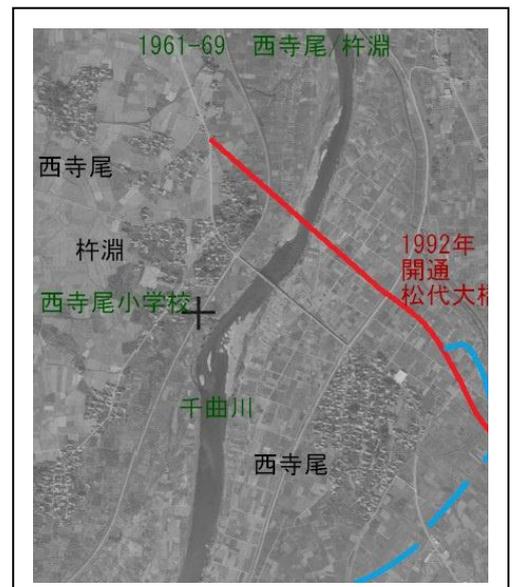
年制作で作詞は山上武夫・作曲は海沼實でともに松代出身、山上さんは戦後再上京を考えたが断念され、以後書店を営みながら詩作をしていた（やはりあの人！）。

松代には、戦時中・「松代大本営の建設」や 1965 年（昭和 40 年）8 月から 5 年半続いた「松代群発地震」など歴史になった出来事が多い、松代群発地震は下宿した時が昭和 44 年だから今思えば最盛期ではなかったが、直下型の下からつきあがる揺れを何度も感じる事が出来た。震源より離れた学校の 2 階の教室にいた時、前のグラウンドが波打って進んできたのが見えた（一生に 1 回）ことが印象深く残っている。

2022.3.29 娘の家に寄ってから、最近開通（2022.2.20）した松代バイパスを走りに行きました。金井山から旧国道 403 号線を東寺尾交差点からバイパスに松代高校付近の県道 35 号線との交点にそこから県道 35 号で戻り途中さかまんじゅうを買い、荒神町交差点から東寺尾交差点からバイパス入り長野インターまでいきその日は中野方面に行き帰りました。長野県庁から長野インターまでの 4 車線が完成したのが小島田バイパス開通した時の 2002 年（平成 14 年）、その前は、松代大橋が完成した 1992 年には岡バス停から長野インターまでのバイパス、青木島から下氷鉦まではそれ以前にバイパスが出来た。

県道 35 号の松代一長野間は、江戸時代、松代善光寺道と呼ばれた主要街道であった。丹波島の渡しで北国街道と合流し、荒木からは善光寺に真直線に向かっていた。この北国街道には参勤交代の加賀藩・富山藩・高田藩等が使用し、佐渡金山の金を運ぶ行列も通った街道でもある。

写真は 1961-69 年の篠ノ井西寺尾・杵淵・松代西寺尾地区の航空写真で、私の大学時代の下宿先周辺の様子わかる。ここから有名な上杉対武田の川中島の戦場となる。第四次合戦（1561 年）の 2 日間がここ八幡原を中心に激戦が行われた。双方合わせて 7000 人（約 20%）の死者がでたといわれている。武田軍の討死した信玄の弟の武田信繁は杵淵にある典厩寺（信繁の官職に合わせ寺名を変えた）に葬られた。山本勘助も討死し



首は敵兵に奪われたが家来が奪い返し胴体と合わせて山本勘助を特定したという胴合橋の付近に埋葬した、その後現在



の位置に勘助の墓を移した。八幡原にはその他いろいろの戦いの後があります。また第二次合戦（1555 年）



は犀川を挟んで戦ったが決着つかず 200 日も対峙した。後は上杉軍と武田軍の大規模な戦いはなく第一次合戦（1553 年）は、布施（篠ノ井）の戦いあるいは更科八幡（千曲市）の戦いと言って小規模の戦いであった。第三次は上野原の戦い、多分上野原は長野市上野（清泉女学院大学あたり）と思われる。最後の第五次合戦（1564 年）は塩崎の対陣で、塩崎城は篠ノ井線稲荷山駅西 1 km。

2021.1.26 松代から真田までの県道 35 号線のつづきを走る。松代高校（標高 370m）の横を通り皆神山を回り込み豊栄に進む、豊栄小学校横（460m）を通り緩やかな登りがつづく、徐々に登っていき数分で山に、標高 700m くらいからつづら折りの道が頂上の地蔵峠(1040m)までつづく、女房の小学校の時にここにスキ

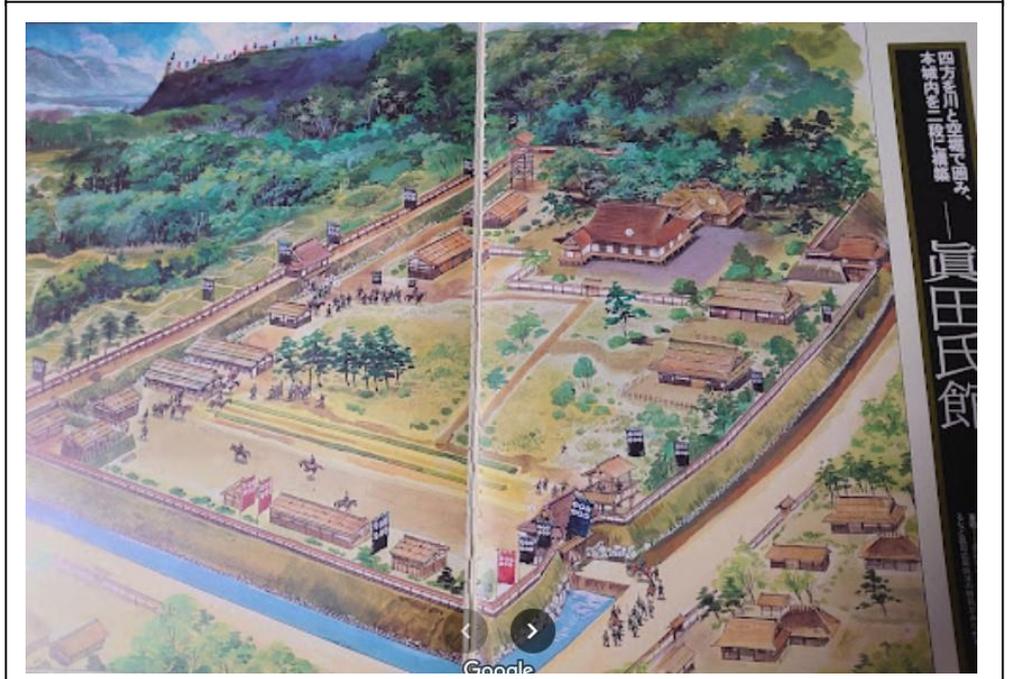
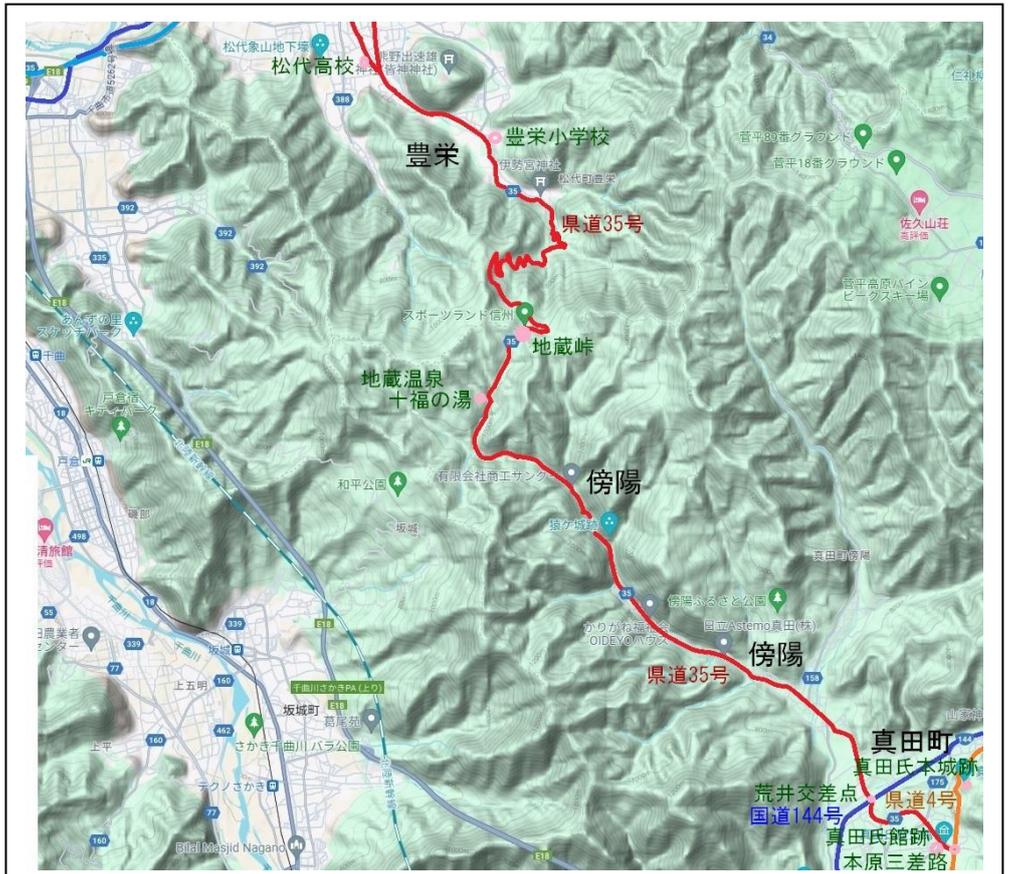
一場があり、親と一緒に豊栄小学校までバスに乗り後は歩いて来たそうだ。

地蔵峠からは曲がりが少なくなり、真田（680m）まで下る。峠から 2km くらい下ったところに「地蔵温泉十福の湯」がある。最近よく地元のテレビ局に扱われるようになったが、娘達はたまに行くみたいだが、私達はいつも通り過ぎていきます。旧傍陽村から真田町（2006 年上田市と合併）の町中に出ると、国道 144 号との交点の荒井交差点に出る。ここから登りになり標高 800m 地点の県道 4 号線の真田町本原の三差路で県道 35 号の終点となる。終点の直前に真田氏に関する史跡があった。真田氏歴史館・真田氏館跡・真田氏館（厩跡・西郭・東門跡・^{たくて}搦手門跡）。屋敷跡で土塁なども残っている。

この日は県道 4 号線を東部湯ノ丸インターに向けて走り、途中「アルカンヴィーニュー」（東御市和のワイナリー）に寄るため 4 号線を山の方に左折した、近年東御市はワイナリーが増えている。また食事もできる

「ヴィラデストガーデンファームアンドワイナリー」（一度行った）もある。この辺は旧^{かのう}和村で高速道路そばには旧和学校記念館がある。寄り道を終え東部湯ノ丸インターから帰宅しました。

歳時記ホームはこちら <http://www.go.tvm.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>



2023.12.5 須坂長野東インターで降り、国道 403 号を須坂方面に幸高町交差点を右折し県道 58 号線をしばらく走ると北信濃くだもの街道の起点である上八町交差点に至る。北信濃くだもの街道は、起点が上八町(須坂八町/県道 58 号交点)で終点が西条東(中野市/県道 358 号交点)の須高広域農道である。

八町から野辺はぶどうが盛んに栽培されている。川を渡ると臥竜公園の裏手(テニスコート・水族館・公園)の横を通り 2003 年に開通した鎌田山トンネルを抜ける。抜けたところは女房の高校生時代に陸上部のランニングコースだったところのようだ(時には鎌田山もトレーニングコース)。本郷の交差点を通るとまさにフルーツラインとなり即売所も数か所ある路線となる。虫送北交差点から上松川橋交差点まで県道 66 号と重複して走り松川を越え小布施町に入り、雁田交差点で県道 358 号に合流した。



小布施町から中野市までは千曲川の東側から上信越道(高速)・国道 403 号(谷街道)・北信濃くだもの街道(広域農道)・県道 358 号(中野小布施線)の 4 本が南北に平行して走る地域である。小布施の町で昼食をと考え、町営駐車場入口交差点から街に向かいました。まよいましたが定番の竹風堂の栗おこわを食べました。食べたあと散策し柵一市川酒造店で、小瓶に入った 3 種類の酒セットを買いました。小布施の北斎館は以前に見学しました、北斎の天井絵の写しも展示されていたのでこの機会に本物を見に行こうと思いました。県道 358 号に戻り岩松院入口交差点を右折し、岩松院に向かいました。



岩松院は 1430 年の創建、葛飾北斎・福島正則・小林一茶のゆかりの寺、山門を抜けると本堂がある、葛飾北斎の晩年の作「八方睨み鳳凰図」(1848 年)を、少し待ってガイドを聞きながら最後は寝そべて上を見上げて観賞した。何枚かに分けて下で描き上にあげた説明や当時の絵具の展示があり、当時のままの色彩を保っている(小布施の豪商の子・儒学者、浮世絵師の高井鴻山が支援)ことなどがわかったが、なによりも実際見てすごい迫力が感じられた事が大きかった。1816 年には小林一茶が訪れ、本堂裏手にある小さな池があり、そこで「やせ蛙まけるな一茶これにあり」と詠んだ。本堂の裏には、福島正則の廟がある。福島正則は 1619 年、広島城無断改築を理由に信濃国高井野藩に改易された。1624 年死去・岩松院は菩提寺である。

歩かなくなった自分(子供の頃歩いた道)

澤田 繁 著

前回(第4集・NO28)の松本の地図の絞り込み年が皆さんのアドバイスを元に出来ました。参考にしたのが松本市役所のホームページの時代別写真集です。

1961年・NHK松本放送局(○) / 開智小学校女鳥羽川沿いから移転(×)

1964年・チンチン電車{大正13年~昭和39年}(?判別出来ず)

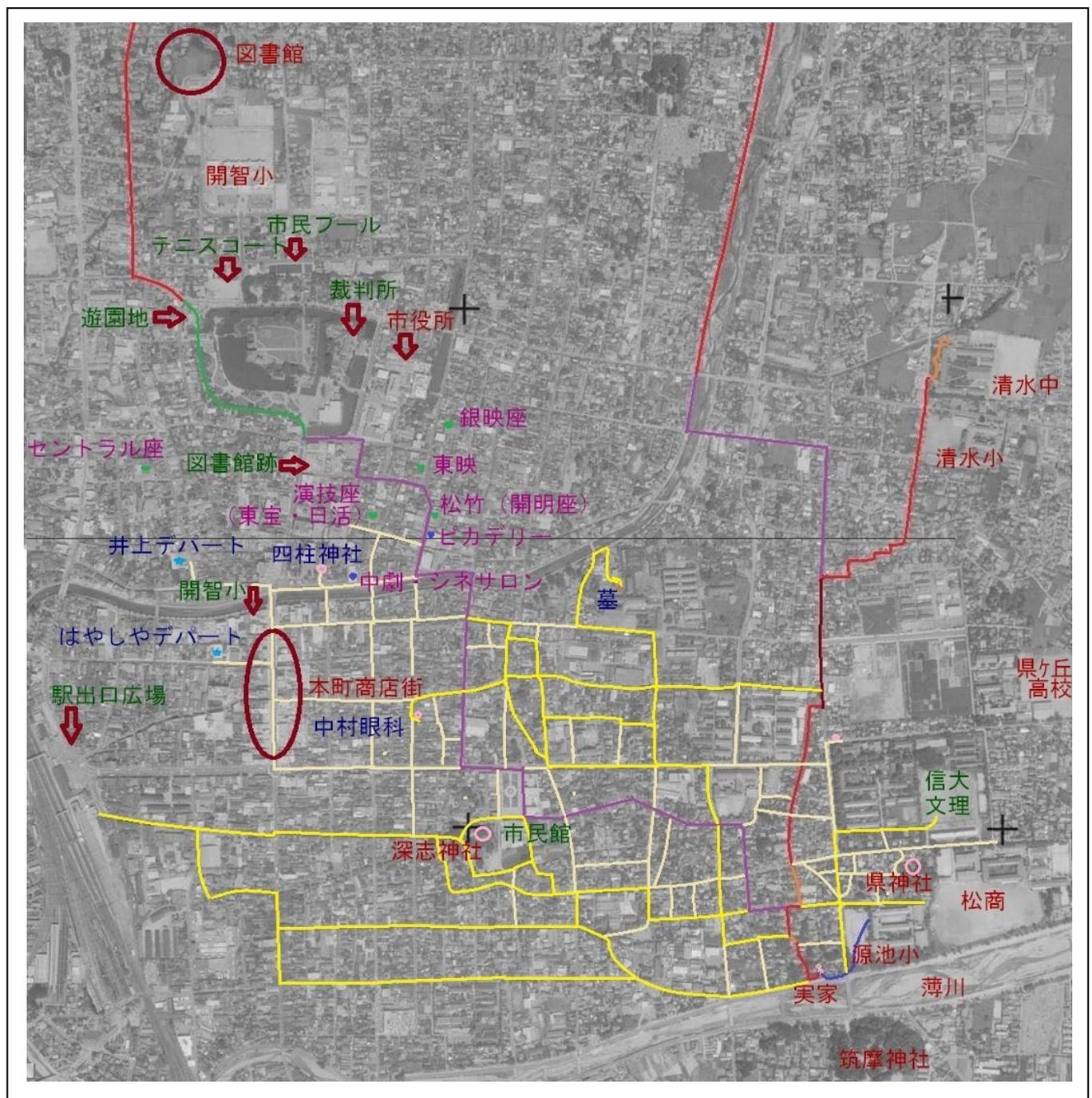
1965年・松本空港開港{郊外地図にて確認}(○)

1966年・伊勢町歩道とアーケード(?判別出来ず) / 本町通り11.4mと歩道4mになる(○)

1967年・お城北西に遊園地(○) / 松本駅出口北陸橋(○)

1968年・城北の歩道橋の撤去(?判別出来ず) / 市立松本図書館{開智小学校の北}(×)

1966年~1967年と絞り込みが出来ました。



小学校まではよく歩いた、特に遠足はいつもいつも遠くまで行って疲れた感じがした。中学生の時は通学はともかく部活（小学校ではなかった）が始まり、遠征は歩くよりは自転車になった。余談だが部活は9人制バレーボールでした。バレーボールは当時屋外スポーツで、1年生の時は後衛～3年生はセッターまで大体のポジションはやってきたが、チーム成績は、近くに強い信大付属中学校があったので、そこと比較して弱いチームで予選突破もできませんでした。高校になると自転車通学になり遠足もなくなり歩かなくなった。社会人になっても、通勤は車となり、年金生活になっても車社会を過ごしています。買い物も旅行も車を使うことがほとんどです。いまは歩くという事がなんなのかも忘れてしまっています。

小学校の時は、遊びで歩いてまわりました。実家の前に薄川が流れていて、川むこうに遊びに行くときは何かの目的があった時であった。今の庄内公園付近には「ドジョウすくい」「イナゴとり」に、1km 上流の小松橋には「マラソン練習」、2km 上流の金華橋には「東城山（林城）山登り」「わらび取り」、2km 南東にある千鹿頭には「千鹿頭神社までの山登り」「神社上まで山登り」「きのことり」「生妻池でさわがにとり」とそれぞれ数回のレベルで行きました。

小学校（特に低学年）のころ、父が大糸線で豊科まで通っていたので、よく一人で歩いて駅まで迎えに行った事。井上デパートの屋上に遊園地があり親につれていってもらった事。そのころ小学校にプールが出来よく目に菌が入り中村眼科まで一人で通った事。墓参りによく母に連れられて行った事。四柱神社のお祭りに親について行った事。友達の家遊びに行った事などなど。黄色線はよく歩いた道で狭い路地も多くあった、白い線はたまに歩いた記憶がある道である。

小学校にあがる前の記憶で、多分銀映座だっと思うが、親に連れられて映画を見に行った、その時の見物席が柵席だった記憶が残っている、調べると映画館の前身が芝居小屋であったところが多い。小学生の頃は巡回映画があり、よく親につれられて小学校の体育館に見に行った。中学校は、指定の映画を見れた、演技座で「用心棒」を見た印象が一番強い。高校生になったら映画は自由に見れた。このころの映画館はどこも2本だて（時には3本もあった）が当たり前であった。高校生料金として¥150は小遣いの範囲であったためよく通った、一番行ったのが洋画のピカデリーで007シリーズも始まっていた。

1966年（高校3年）～1967年の松本航空写真に映画館をスポットして見ました。

松本ピカデリー	1998年閉館（現在は上土劇場）
松本中劇・中劇シネサロン	2004年閉館（現在はマンション）
銀映座	2008年閉館（現在は駐車場？）
松本東映	2008年閉館
松竹（開明座）	1992年閉館（現在は駐車場）
演技座2館（東宝・日活）	2010年閉館
セントラル座	2004年閉館

2023年現在イオンシネマ松本・松本シネマライツ・アイシティシネマ（山形村）があり、いずれも大型駐車場のある多館型映画館である。

歳時記ホームはこちら <http://www.go.tvm.ne.jp/~sawada/aijiki/saijikihome.htm>